

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

あゆみ会報

2019年11月号 第147号

編集 湘南あゆみ会
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内
TEL/FAX 0463-24-0420
定価 50円（会員は年会費に含まれています）

報 告

●福祉会館まつり 横溝まつり 盛況でした

10月18日（金）19日（土）に行われた平塚市福祉会館まつりは、幸い天気予報が外れて、雨に降られることもなく、盛況のうちに終了しました。

販売コーナーは、1階ロビーに今年も設置され、平障連から湘南あゆみ会、平塚市手をつなぐ育成会、平塚市肢体障害者福祉会が参加しました。

この秋は天候不順のせいもあり、野菜類が全般的に高く、準備したさつまいも、里芋は一日で売り切れ、柿・みかんは午前中で完売となりました。東北支援の昆布・わかめ・茎わかめは毎年人気で、この日を待っていたというお客さんもあり、2つ3つと買っていく人もあり、2日目には並べるものが殆んどなくなってしまう程でした。

新米は今年から人気の“はるみ”になり、試食を準備したこともあり、甘みがあっておいしいと好評でした。桜草の苗も、去年買ったなら良く咲いたからと、販売開始時間前から予約が殺到し、2日とも完売となりました。

続いて20日（日）に行われた大磯横溝まつりは夏日のような晴天となり、式典には大磯町長、町会議員も出席し、小学生の鼓笛隊、障害者団体のフラダンスなどもあり、町あげての和やかなおまつりとなりました。販売する品物は前日の福祉会館まつりで殆んどなくなってしまう、急遽仕入れたみかん・柿と昆布、新米、桜草だけでしたが、昆布、新米が少し残っただけでほとんど売り切れました。子ども連れや障害者の方々の参加もあり、のどかな雰囲気のおまつりでした。また、作品展会場には、当事者の方々の力作絵画5点が展示されて、両方のおまつりに芸術の香りを放っていました。

泥の中での芋ほり作業、袋詰め、販売など3日間にわたってご協力くださった皆様お疲れ様でした。

以下に簡単ですが会計報告をします。

販売品目 米、さつまいもなど11品目

売上合計	259,790円
原価合計	186,907円
利益	72,883円
雑収入	3,300円

76,183円を会計に繰り入れました。



福祉会館まつり 販売風景



展示絵画

●第46回「県民の集い」 in 平塚

第46回精神保健福祉「県民の集い」は11月13日（水）平塚市中央公民館大ホールにおいて行われました。ひよこバンドの演奏、式典、夏苺先生の講演、パネルディスカッションと盛り沢山の内容でしたが、287人の参加者があり、成功裏に終了しました。詳細は12月会報で報告します。

これからの予定のお知らせ

♥ともに生きよう

「障がい者の日キャンペーン」

主催 平塚市障がい者団体連合会

12月8日（日）13：00～15：00

OSC 湘南シティ オープンモール

平障連では、今年も障害者週間の中で啓発活動としてキャンペーンを行います。啓発品とチラシの配布、また、ステージでは“エアロ・デ・あい”のダンスパフォーマンス、“ブルーグラスフレンズ”の歌と演奏が行われます。

平障連加入の全団体が参加しての啓発活動です。湘南あゆみ会からも皆様の積極的な参加をお願いします。

詳細は同封のチラシをご覧ください。



♥12月定例会 家族交流会 と

訪問看護ステーションあやめの説明会

12月17日（火）13：30～16：00

ひらつか市民活動センターA 会議室

久しぶりの家族交流会です。奮ってご参加下さい。悩んでいること、嬉しかったことなど、大いにおしゃべりしましょう。話すことは放すこと、心が軽くなります。また当日は、訪問看護ステーションあやめ（精神特化）の説明会を行います。訪問

看護の利用を考えている方、参加をお勧めします。

♥令和2年1月定例会 《新年会》

日時 1月20日（月）13：00～15：00

会場 平塚YWCAホール

会費 1500円

申込 1月10日（金）迄

申込先 0463-54-2906 渡辺みどり

奮ってご参加下さい！！



♥第28回 ちゅうおう FESTA

令和2年1月25日（土）26日（日）

9：00～16：00

会場：平塚市中央公民館

ちゅうおう FESTA は、公民館まつりの一環として行われ、芸能部会、展示部会、模擬店部会、体験教室部会、ボランティア部会があり、多くの団体が参加します。

今回、湘南あゆみ会は初めて模擬店部会に参加し、みどり農園の野菜を販売します。詳細は公民館発行のチラシをご覧ください。



《じんかれん面接相談をご利用ください》

面接日 毎月第3水曜日 13：00～16：00

場所 伊勢原 KIVA

精神科専門の看護師が相談をお受けします。

電話だけでは話せないことも十分時間をとって直接相談できます。〈無料〉

申込先 じんかれん事務所（火・木 10：00～16：00） ☎045-821-8796

『月刊みんなねっと』購読のおすすめ

月刊みんなねっとがリニューアルしました！！
10月号の特集は『希望が見えた瞬間』
その中の一つをご紹介します。

「ピアサポーターの募集を目にした瞬間」

神奈川県 松本京子

統合失調症と診断されてから長い時間が過ぎました。10回以上の入院生活、デイケア参加、作業所通所などのステップをふんできました。

今、日々希望に満ちた生活を送ることができ心から感謝の毎日です。あれほど苦しかったのが嘘のようです。

作業所の掲示板で昨年、あるピアサポーターの募集がされているのを目にした瞬間、あ、これだ！と思いました。希望が見えた瞬間でした。スタッフさんにチラシをコピーしていただき熟読して応募しました。推薦状を書いてくださったスタッフさんにも感謝です。選考の結果採用されました。それから約10か月ピアサポーターの活動をさせていただいています。電車とバスで往復4時間かかります。帰りの電車の中で、その日の反省をしたりすることもあります。毎回「生きてきて良かった」と充実感を味わっています。

ピアサポーターの役割はイコール私の生き甲斐です。辛い病気の経験もバネになります。自分の人生に対して今となっては感謝でいっぱいです。

ありがとうを繰り返すと希望が生まれる気がします。家族、医療従事者、作業所のスタッフと仲間、そのほか出会い関わり合ってきた沢山の方々にお礼を申し上げます。これからもぼちぼち生きていきます。

そのほか、

- ・多事彩々 「バスの窓から」(野村忠良)
- ・みんなねっと相談室から(第7回)友人が精神疾患になり、とても苦しんでいます・・・
- ・家族が家族に伝える教育プログラム「家族学習会のススメ」
- ・(第7回) 触れ合うなかまたちとのつながり～自分らしさを大切にすること～
- ・当事者・家族に役立つ睡眠の話(1話)

「毎日の睡眠に必要な時間はどのくらい？」
・知ることは生きること(第46回)(青木聖久)
などなど、小さい版の中に私たちの役に立つ情報がいっぱい詰まっています。

そのほか、みんなねっとの活動も知る事ができ、家にいながらにして多くの情報を得ることができ、家族の孤立化を防ぐためにも、是非、会員の皆さまの購読をお勧めします。

湘南あゆみ会では団体購入はしていませんので、個人でお申し込みいただくことになります。

個人年間購読料 3600円

申込・問合せ

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-46-13

ホリグチビル 602

TEL 03-6907-9211 FAX 03-3987-5466

《新刊紹介》

『あなたの障害年金は 診断書で決まる！』

「月刊みんなねっと」の人気連載を大幅加筆

著：白石美佐子、中川洋子

定価 本体 1500円＋税

『診断書』依頼のポイントがわかる！

障害年金の認定審査は、医者が作成する診断書の内容に基づいて行われます。

この最も重要な書類(診断書)に、当事者の心身状態や生活状況が的確に反映されてこそ、適正な認定結果が得られるといえます。

本書は“医師に診断書を依頼するときのポイント”を紹介した本邦初の書！

「請求手続きの基本」と「困ったときの対処法」もわかりやすく解説します。

お申し込みは FAX・電話・ホームページから！

FAX03-3987-5466 電話 03-6907-9211

みんなねっとホームページ

<https://seishinhoken.jp>

(みんなねっと 10月号より転記)



精神保健福祉の改善・充実に関する要望書

湘南あゆみ会では2019年度の平塚市への要望書を下記のように提出しました。

【主要な要望項目】

- 1 「重度障害者医療費助成制度」の適用範囲の拡充
精神障害者保健福祉手帳1級保持者に加え、2級保持者にもこの制度を適用してください。
平塚市では上記制度を、身体障害者手帳1級2級3級及び知的障害者療育手帳A1A2B1まで幅広く適用しています。精神障害者にも同様に幅広く適用してください。
- 2 バス運賃割引制度の早期適用
神奈川県及びバス協会に対し、更なる一層の働きかけをお願いします。
障害者自立支援法において出された三障害一元化を実現させてください。
近隣の殆どの県が既に適用しており神奈川県だけが遅れています。
- 3 精神障害者だけでなく、家族全員（親、子、兄弟）を対象とした訪問支援の推進
家族それぞれのニーズに応じた支援が求められます。
- 4 ひきこもっている人の実態調査と医療・福祉につなげるための支援
- 5 ピアサポーターの養成と社会参加の推進
ピアサポーターは精神障害者の理解と支援になくしてはならない存在です。
- 6 精神疾患についての理解を勧めるための教育・施策・活動の更なる推進
精神疾患の治療には家族を含め、周囲の温かい理解が必要です。
- 7 市役所庁舎に空会議室がある場合、市民団体に利用させてください。
平塚市内には市民団体が利用できる会場が不足しています。

《 入居者募集のご案内 》

共同生活援助事業者「メゾン元町」グループホーム 募集人数 1名（男性）

<世話人配置> 平日11時～19時

<日常生活援助>

①食事の提供 ②服薬相談 ③金銭出納の助言

<入居条件>

- ◎ある程度の自立能力があり共同生活が可能の人
- ◎自己の障害を理解し通院、服薬を継続できる人
- ◎日中活動の場に通所できる人
- ◎家族環境や住宅事情により住居の確保が困難な人

◎入居契約にある条件を守れる人

◎連帯保証人を立てられる人

<利用料金>

- ・管理費・修繕費（入居時のみ）60,000円
- ・月額負担金48,000円（居室利用料20,000円、食費16,400円、水道光熱・消耗品費11,600円）

入居には本人の希望、主治医・ソーシャルワーカー等の紹介が必要（選考時には医師の意見書）
家族・保護者がいる場合はその承諾が必要

特定非営利活動法人湘南いこいの里
共同生活援助事業所「メゾン元町」

理事長 佐藤 強

お問合せ先

〒259-0123 二宮町二宮 1372-3-108

TEL, FAX 0463-72-1137

受付平日11:00～17:00（世話人：平田）

Mail maison-motomachi@mj.scn-net.ne.jp

12月のサロンあゆみ

20日（金）13:30～16:00

1年最後の月を迎え、忙しい時期ですが風邪などひかないように体調管理に気をつけてお過ごしください。

